

せんそうの本をよんで

学校法人カトリック学園海星小学校二年 石垣 条治

ぼくは今日、先生に「げっとうの花さくとき」と、言う本をよみかせしてもらいました。

ぼくは、この本をよんでかなしいなど、おもいました。

この本は、おきなわのせんそうでかぞくがみんなころされてしまった。ユキさんのお話です。ぼくは、なぜせんそうをするのかとふしぎでした。自ぶんの国のつよさをしりたいかなのかな。なぜちいさなおきなわをせめるのかな。おきなわは、アメリカのことをいじめたのかなアメリカをおこらせちゃうことでもしたのかな、と思いました。せんそうは、人をころしてしまうかなしいことだとおもいました。せかいはいわがいいです。二どとせんそうをしたくないです。ぼくは、だれともケンカをしたくないです。

ぼくのかよっている学こうはキリストきょうのおしえからできた学こうです。おともだちをかぞくのように大せつにし

なさいとおそわりました。ゆうあいと言うそうです。ぼくは、せかいの中の人がゆうあいのたいせつなところをもつてくれたらへいわなせかいでくらせるのになあとおもいました。

たくさんの人にゆうあいのこころをしてもらうためにぼくもがんばるね。